

○2019年までの藤堂史明の業績：

○『えんとろびい』は査読。『経済開発と環境保全の新視点』も査読、『新潟大学経済論集』は非査読、その他の書籍は査読。

藤堂史明 (1992)、「原子力利用の危険性」、『週刊エコノミスト』、1992年9月15日号、毎日新聞出版、108頁。

藤堂史明 (2005)、「循環型社会の実効性に向けてー日本の環境政策と環境資源管理制度」、松原望、丸山真人編、『アジア太平洋環境の新視点』、第7章所収、彩流社。

藤堂史明 (2006a)、「環境効率と環境資源管理制度」、『新潟大学経済論集』、第80号、2005-II、33-46頁

藤堂史明 (2006b)、「フレデリック・ソディの富の概念、価値及び資本の位置づけと、環境及び経済システムのエントロピー論的理解におけるその現在の意義」、『新潟大学経済論集』、第81号、2006-I、75-105頁。

藤堂史明 (2006c)、「フレデリック・ソディの富の概念と経済学についての第一考察」エントロピー学会誌『えんとろびい』、第58号、1-6頁。

藤堂史明(2008a)、「フレデリック・ソディ『富、仮想的な富そして負債：経済学の逆説への解決策』1章、3章における基礎的分析概念について〔翻訳〕」、『新潟大学経済論集』第84号、2007-II、105-139頁。

藤堂史明(2008b)、「エントロピー経済学入門ー第1回： 価値の本質とは何かー」、エントロピー学会誌『えんとろびい』、第64号、2008年11月、38-47頁。

藤堂史明(2009a)、「フレデリック・ソディ『富、仮想的な富そして負債：経済学の逆説への解決策』第4-5章における富・信用・価値についての標準的経済学批判の考察」『新潟大学経済論集』、第85号、2008-II、83-125頁。

藤堂史明(2009b)、「フレデリック・ソディ『富、仮想的な富そして負債：経済学の逆説への解決策』第7章における貨幣・仮想的富の理論についての考察」、『新潟大学経済論集』、第87号、2009-I、101-144頁。

藤堂史明 (2009c)、「エントロピー経済学入門ー第2回： 市場と生命における価値の生産ー」エントロピー学会誌『えんとろびい』、第66号、2009年7月、83-96頁。

藤堂史明 (2009d)、「エントロピー経済学入門ー第3回： 物理的な富と非物理的な富ー」、エントロピー学会誌『えんとろびい』、第67号、2009年11月、42-52頁。

藤堂史明 (2010a)、「<研究ノート>環境・資源管理問題におけるいくつかの基本的命題の考察」、『経済開発と環境保全の新視点』、第1号、42-53頁。

藤堂史明 (2010b)「エントロピー経済学入門ー第4回： 市場メカニズムと「社会エンジン」の制御ー」エントロピー学会誌『えんとろびい』、第69号、48-59頁。

藤堂史明 (2011)、「エントロピー経済学入門ー第5回： 膨張する経済社会の終焉ー」、エ

- ントロピー学会誌『えんころびい』、第70号、2011年3月、59-73頁。
- 藤堂史明 (2012a)、「東電福島第一原発事故後の原子力防災対策」、『新潟大学経済論集』、第92号、2011-II、131-159頁。
- 藤堂史明 (2012b)、「新潟県における原子力災害対応体制と社会経済的影響 研究報告書」、平成23年度新潟大学プロジェクト推進経費（災害特別）事業、平成24年3月14日。
- 藤堂史明 (2012c)「槌田敦のエントロピー理論、その貢献と未来への展開」エントロピー学会誌『えんころびい』、第72号、47-52頁。
- 藤堂史明 (2012d)、「<研究ノート>東電福島第一原発事故後の放射線リスクと防護基準の考え方」、『経済開発と環境保全の新視点』、第3号、21-28頁。
- 藤堂史明 (2012e)、「原子力防災体制とリスク評価の社会経済的側面」、エントロピー学会誌『えんころびい』、第73号、2012年春の研究集会特集、65-72頁。
- 藤堂史明 (2013a)、「原発事故による放射線リスクの経済分析」、『新潟大学経済論集』、第94号、2012-II、69-97頁。
- 藤堂史明 (2013b)、「<研究ノート>持続可能な民主主義は可能か - 時間の不可逆性とエントロピー法則」、『経済開発と環境保全の新視点』、第4号、新潟大学大学院現代社会文化研究科、45-57頁。
- 藤堂史明 (2014a)、「エントロピー経済学の創成と環境学の今日的課題」、『経済学論叢』、第65巻第3号、室田武教授古稀記念論文集、同志社大学経済学会、147-163頁。
- 藤堂史明 (2014b)、「原発再稼働をめぐる経済的論理」、『新潟大学経済論集』、第96号、2013-II、49-65頁。
- 藤堂史明 (2015)、「原子力災害対策の見直しについての経済学的考察」、『新潟大学経済論集』第98号、2014-II、69-97頁。
- 藤堂史明 (2016a)、「<研究ノート>原子力発電所の経済効果はあったのかー柏崎市の事例ー」、『経済開発と環境保全の新視点』、第7号、2016年3月、55-65頁。
- 藤堂史明 (2016b)、「『原子力防災』の経済学ー「望ましい」被ばく量はあるのだろうかー」、ブックレット新潟大学68、新潟日報事業社。
- 藤堂史明 (2018)、「フレデリック・ソディ『富、仮想的な富そして負債：経済学の逆説への解決策』第2章におけるエネルギーとその利用に関する理論について」、『新潟大学経済論集』、第104号、2017-II、117-142頁。

○英文：MA Thesis は学位論文、それ以外すべて査読

F. Toudou (1997), "The Rights of Future Generations," *MA Thesis*, Graduate School of Economics, University of Tokyo.

F. Toudou (2008), "The Limits to Self-Restraint and Eco-Efficiency: Proposed Application

of Environmental Taxation in Japanese Environmental Policy,” in N. J. Chalifour, J. E. Milne, H. Ashiabor, K. Deketelaere, L. Kreiser eds. *CRITICAL ISSUES IN ENVIRONMENTAL TAXATION - International and Comparative Perspectives*, Vol. V, Oxford: Oxford University Press.

F. Toudou (2009), “Rebuilding Existing Environmentally Related Taxes and Transport Budget Structure in Japan,” L. Lye, J. E. Milne, H. Ashiabor, L. Kreiser, K. Deketelaere eds. *Critical Issues in Environmental Taxation*, Vol. VII, Oxford: Oxford University Press, pp. 187-204.